

7-6 附属図書館の学習環境 【担当：図書・情報課】

附属図書館は、共通講義棟、食堂、大学生協、保健管理センター等に隣接し、キャンパスで最も人通りが多く、学生にとってアクセスしやすい場所に立地しています。昭和33年の竣工以来増築を重ね、平成19年度には大幅な改修を施し、全国でいち早くラーニング・コモンズやキャリアカフェといった居心地のいい学習空間を設置し、また、最先端の学術情報サービスの提供を進めてきました。これらによって、来館者数、図書の貸出数が増加し、座席数が不足するなど施設の狭隘化が課題になっていましたが、平成29年度に増築・改修を行い、平成30年4月にリニューアルオープンいたしました。

1) 基本情報

A：建物面積（平成30年5月1日現在）

名称	構造	建面積	延面積
附属図書館	RC：3-1	2,386 m ²	5,053 m ²

B：利用状況（平成29年度）

開館日数	入館者数	館外貸出冊数
231日	71,853人	33,521冊

C：蔵書冊数（平成30年5月1日現在）

図書の冊数		所蔵雑誌の種類数	
和書	480,645冊	和雑誌	7,121種
洋書	204,580冊	洋雑誌	2,348種
計	685,225冊	計	9,469種

D：年間受入冊数（平成29年度）

年間受入図書冊数		年間受入雑誌の種類数	
和書	5,908冊	和雑誌	745種
洋書	1,082冊	洋雑誌	179種
計	6,990冊	計	924種

E：開館時間 ※年末年始、授業のない祝日等休館のことがある。

	授業のある期間	授業のない期間
月～金	8:45～21:00	8:45～17:00 (一部8:45～19:00)
土	10:00～18:00	休館
日	13:00～18:00	休館

F：貸出できる資料の冊数と期間

	図書	視聴覚資料
学部1～3年生	10冊、2週間	3点、1週間
学部4年生、大学院生	20冊、4週間	

A：蔵書

・本学には、附属図書館のほかに学科・講座等にも20余りの図書室・資料室があります。上記C、Dの数値は学科・講座等図書室を含めたものです。附属図書館は本学の教育・研究基盤として、学生の教育研究に必要な

基本的・学際的な学術図書を中心に、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育に対応した図書など、本学の特徴ある教育を支える資料を収集しており、約39万冊が配架されています。また、視聴覚資料、電子ジャーナル、電子ブック、各種データベースの整備にも努めています。一方、学科・講座等の図書室では、それぞれの研究分野に応じた専門性の高い図書・雑誌等を収集しています。これらの資料は、教員の選定によるもの、シラバスに指定されたものを中心として、学生のリクエストによるもの、教員や外部の方の寄贈によるものなども受け入れています。

・【電子ジャーナル】Elsevier社、Springer社といった大手出版社をはじめ、約11,000種の電子ジャーナルを利用することができます。

・【電子ブック】和書・洋書あわせて、約34,000冊の電子ブックを利用することができます。

・【データベース】雑誌論文検索データベースのEBSCOhost、SciFinder、SCOPUS、医中誌Web、各種百科事典やハンドブックのオンライン版であるJapanKnowledge、GURL (Gale Virtual Reference Library)、新聞記事データベースの「聞蔵Ⅱ」、「ヨミダス文書館」、「日経テレコン」などが利用できます。

B：施設

・附属図書館の利用者スペースは2フロアとなっています。今回のリニューアルによって、約600㎡が増築され、約2,800㎡が改修されました。

・新しくなった図書館は、1階の2か所に入口があり、学内どこからでもアクセスし易くなっています。

・1階はコモンズフロアと呼び、明るい雰囲気の中で、個人・グループで学習できるスペースとなっています。オープンな学習スペースのグローバルラーニングコモンズ、グループ学習室のミニコモンズ、セミナー等が開催できるプレゼンテーションルームなどがあります。また、PCスクエアでは約35台のデスクトップPCが利用でき、そのほかにノートPCの自動貸出ロッカーが1階と2階に設置されています。入口を入ってすぐのウェルカムラウンジは誰でも自由に利用できるスペースとなっており、月1回のピアノコンサートや企画展示なども行っています。

・2階はラーニングフロアと呼び、一般図書や参考図書、リベラルアーツ図書、ジェンダー研究所資料等が配架され、落ち着いた雰囲気の中で集中して学習できるスペースとなっています。広々とした閲覧スペースのアカデミックラーニングスペース、仕切られた空間で静かに学習できるクワイエットラーニングルーム、学習の合間に休憩できるリラクックスペース、視聴覚ブースなどが設けられています。2階の奥には、大学院生用研究スペースもあります。

2) 附属図書館が提供する学習・研究支援サービス

A：レファレンスサービス

1階の総合カウンターでは、図書館の利用に関する質問・相談、学外への文献複写・図書借用申込み、紹介状の発行などを受け付けています。中でも特筆すべきサービスは、学生に対し、文献複写の取り寄せを無料で実施していることです。図書借用の場合は、片道分の送料が無料になります。

B：情報リテラシー講習会

図書館は、学習・研究をサポートするさまざまな講習会を企画・開催しています。「情報リテラシー」とは、高等教育の学びの場において必要となる「情報活用能力」のことで、図書館の資料や電子リソース、データベースなどを使いこなす力を含みます。学部1年生必修の情報処理演習授業内で実施する情報探索基礎講習や、授業やゼミ、研究室等のグループ単位の申し込みに対応した「オーダーメイド講習会」を実施しています。「オーダーメイド講習会」は、時間や内容をアレンジして、専攻分野に即した内容を深く学習することができます。このように、学部初年次教育から卒業研究、大学院等、様々なステージにいる学生の学習・研究をサポートしています。

C：LALA (Library Academic Learning Adviser) デスク

平成 26 年 4 月より、大学院生のライブラリー・アカデミック・ラーニング・アドバイザー（LALA）が常駐する LALA デスクを開設しています。LALA は、教員、図書館員等からアカデミックスキルズ（図書館情報探索や、論文の技法、ライティング支援等）に関するトレーニングを受けており、「共に学び、共に成長する」をキーワードに、文献の探し方やレポートの書き方など、学習や研究に関わるさまざまな質問や相談に対応しています。また、LALA デスク近くにアカデミックスキルズに関する本を集めた「LALA 文庫」を設置しているほか、ブログでの情報発信や講習会（LALA セミナー）も行っています。

D : LiSA (Library Student Assistant) プログラム

平成 19 年 11 月より始まった、図書館スタッフと学生の協働による図書館活性化プログラムです。半年を 1 期とし、図書館に関心をもつ学生を募集し、図書館スタッフの指導・助言のもと、図書の装備、修理、配架といったさまざまな業務を体験してもらいます（通常業務）。また、学生の視点からの業務改善の提案や、資料展示、図書館ツアー、Twitter による広報などの企画も行われています（自主企画）。多様な図書館資料に触れることにより積極的な学習意欲を喚起すること、他者をサポートする体験を通じて実践的なキャリア意識の形成を図ることを目標としています。

E : 教育・研究成果コレクション TeaPot（機関リポジトリ）

お茶の水女子大学の教育・研究成果を蓄積・発信する機関リポジトリは、平成 19 年 4 月に公開され、本学の名前にちなんだ「TeaPot」の愛称で親しまれています。雑誌『幼児の教育』の初号からの電子化公開、舞踊教育学コースの創作舞踊公演動画などの特徴的なコンテンツに加え、本学の学部・学科・センター等が発行する紀要雑誌の目次情報と本文の公開に努めています。平成 29 年度末の累計登録件数は 37,521 件となりました。
<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/>

F : お茶の水女子大学 E-book サービス

平成 24 年 3 月からは、本学の教職員・大学院生の研究・教育成果を ISBN 付きの E-Book（主に PDF）として電子出版し、無料公開するサービスを開始しました。既存のしくみを活用し、出版会を持たない小規模な大学でも出版が可能であることを示したことが評価され、平成 25 年度国立大学図書館協会賞を受賞しています。平成 29 年度末現在の出版点数は 12 作品 15 点で、平成 29 年度総ダウンロード数は合計 33,410 回となっており、本学の研究成果の発信に寄与しています。



LALA デスク



E-Book サービス画面